

令和4年度病害虫発生予察特殊報第2号

令和5年2月10日
愛 知 県

1 病害虫名：サツマイモ基腐病（もとぐされびょう）

（病原菌 *Diaporthe destruens* (Harter) Hirooka, Minosh. & Rossman）

2 発生作物：サツマイモ

3 発生地域：西三河地域

4 本県での発生確認の経過

令和4年10月、西三河地域のサツマイモほ場で地際部の茎やなり首側の塊根が変色して腐る症状が発生したとの報告があった。愛知県農業総合試験場において塊根及び茎の表面に柄子殻の形成を確認し、分離した病原菌の形態観察をしたところ、サツマイモ基腐病が疑われた。

このため、農林水産省名古屋植物防疫所に同定依頼した結果、令和5年1月に本県未発生のサツマイモ基腐病であることが判明した。

5 国内での発生状況

本病は、国内では平成30年に沖縄県で初めて発生が確認され、その後、計30都道府県で報告されており、本県の近隣では岐阜県、三重県、静岡県、長野県で確認されている。

6 病徴及び発生生態

- (1) 苗床では、巻葉、葉の赤変や黄変、株元の茎の黒変、株の萎縮および種いもの腐敗等が見られる。
- (2) 本ほでの発病初期は葉が赤変、黄変し生育不良となる。茎は地際部から暗褐色～黒色に変色する。その後、茎葉の枯死（図1）や塊根のなり首側の腐敗が生じ（図2）、腐敗は次第に塊根全体に広がる。収穫時に健全に見えた塊根が貯蔵中に腐敗することもある。
- (3) 本ほで茎葉が繁茂する時期は株の異常に気付きにくく、収穫時期が近づき、茎葉の生育が衰える頃になって枯れ上がったように見える場合が多い。
- (4) 発病株では、表層に微少な黒点粒状の柄子殻が形成される（図3）。柄子殻から漏出した胞子（図4）は、風雨やほ場の停滞水によって広がり、周辺株に感染する。
- (5) 罹病したつるや塊根で伝搬する。また、植物残さ上で越冬し、翌年の伝染源となる。
- (6) 本菌の宿主はヒルガオ科植物（主にサツマイモ）である。

7 防除対策

- (1) 本病の未発生ほ場で生産された健全種苗を使用する。
- (2) 未消毒の苗を使用する場合は、適用のある薬剤で消毒する（表）。
- (3) 発病株（茎葉や塊根）は速やかに抜き取り、適切に処分する。その後、周辺株への感染予防のため薬剤を散布する（表）とともに、以降も新たな発病株がないか注意する。また、収穫後の残さはほ場から持ち出し、適切に処分する。
- (4) 発生ほ場では、次作の植付前に土壌消毒を行う（表）。
- (5) 発生ほ場で使用した農機具や資材は、洗浄や消毒を十分に行う。
- (6) 排水不良のほ場で発生しやすいため、排水対策を十分に行う。
- (7) 多発ほ場ではサツマイモの連作を避け、ヒルガオ科植物以外の作物を栽培する。
- (8) 対策等の詳細は、農研機構生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(01020C)のマニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策（令和3年度版）」を参照する
[（https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/151859.html）](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/151859.html)。

8 連絡先

愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病虫害防除室
 電話：0561-62-0085（内線 471）

表 サツマイモ基腐病に対する主な防除薬剤（令和5年2月10日現在）

薬剤名	成分名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
ベンレートT水和剤20	チウラム・ベノミル	植付前	1回	30分間苗浸漬	M3, 1
ベンレート水和剤	ベノミル	植付前	1回	30分間苗浸漬	1
Zボルドー	銅	-	-	散布	M1
アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン	収穫14日前まで	3回以内	散布	11
トリフミン水和剤	トリフルミゾール	収穫前日まで	2回以内	散布	3
ジーファイン水和剤	炭酸水素ナトリウム・銅	収穫前日まで	-	散布	NC, M1
バスアミド/ガスタード微粒剤	ダゾメット	植付21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	M3
フロンスайд粉剤	フルアジナム	植付前	1回	全面土壌混和	29
フロンスайдSC	フルアジナム	植付前	1回	全面散布土壌混和	29

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。
 FRACコード及び殺菌剤の耐性リスクの詳細は、
https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code_pdf01_2022.pdf を参照する。
 農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める



図1 発生ほ場での茎葉の枯死



図2 なり首側からの腐敗（断面）



図3 茎上に形成された柄子殻



図4 柄子殻内の胞子

図1, 2 : 三重県病害虫防除所提供

図3, 4 : 名古屋植物防疫所提供